

◆ 研究所概要



組織名	地方独立行政法人大阪産業技術研究所和泉センター	
所在地	大阪府和泉市あゆみ野2丁目7番1号	
職員数	173名 (非常勤・派遣26名を含む)	

サイト(敷地), 建物	敷地面積	72,600㎡
	建築面積	17,118㎡
	延床面積	38,239㎡

◆ 事業活動の環境への影響 (令和元年度実績)

地方独立行政法人大阪産業技術研究所和泉センター(以下、和泉センターという。)は環境改善につながる活動を推進しています。和泉センターには特に大きな環境影響を及ぼす施設や活動はありませんが、公設試験研究機関という業務の特殊性から薬品、高圧ガスをはじめとする多種多様な化学物質を使用しており、それらの取扱いによっては、環境に対して影響を及ぼしうるものと認識しています。

INPUT

電力使用量	:	5,938	千 kWh
都市ガス使用量	:	214	千 m ³
水道使用量	:	17	千 m ³
紙使用量	:	720	千枚

OUTPUT

廃棄物排出量

事業系一般廃棄物	:	9.2	トン
産業廃棄物合計	:	26.6	トン
(内、特別管理産業廃棄物)	:	0.8	トン

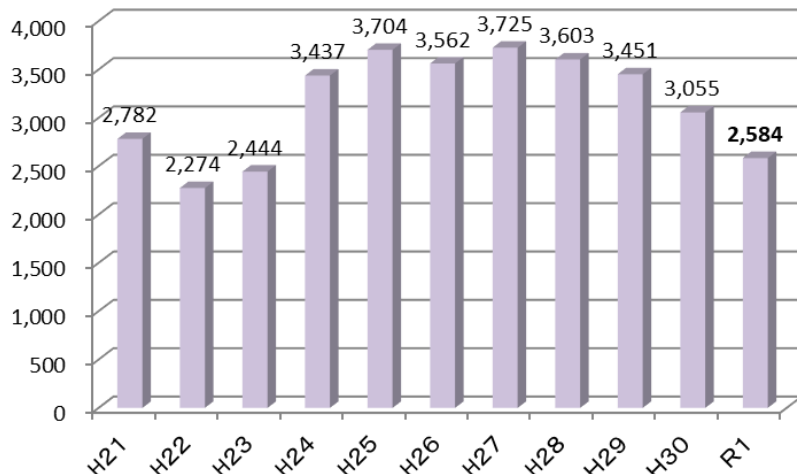
◆ 環境パフォーマンス

過去10年間の電力、都市ガス、水道の使用量をCO₂排出量に換算しました。

和泉センターでは平成22年度までは、ほぼ順調にCO₂排出量を減少させてきましたが、平成23~25年度は排出係数の上昇等により、前年度に比べ、増加しました。

令和元年度は、排出係数が減少したため平成30年度よりCO₂排出量を約500トン減少することができました。

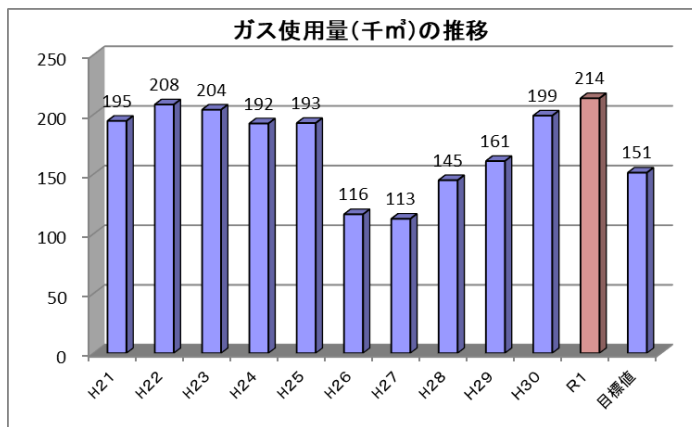
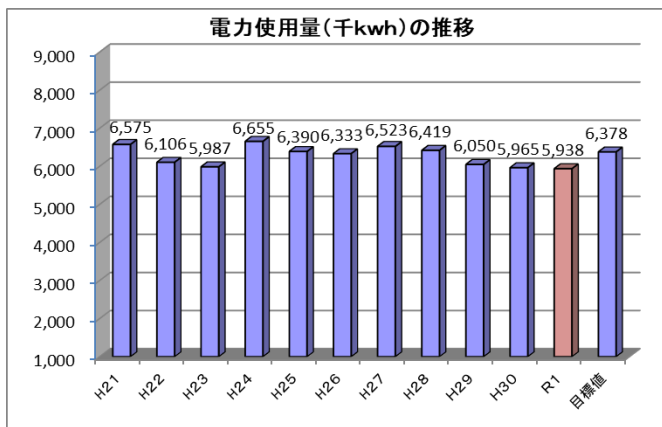
CO₂排出量(t)
電力・都市ガス・水道・使用量から換算



◆ 省エネルギーへの取組み

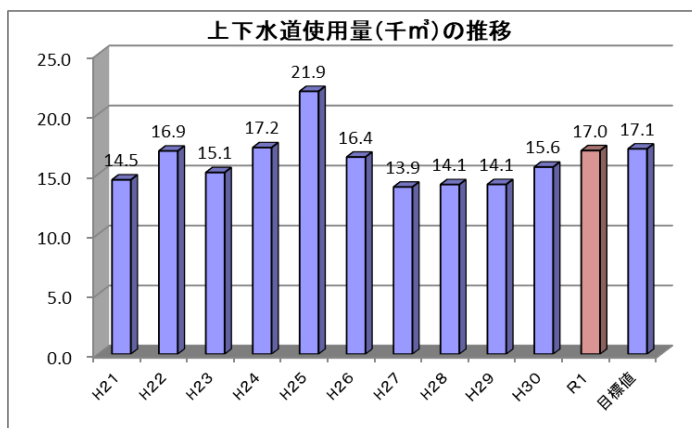
■ 電力・ガス使用量について

令和元年度の電力の使用量は、前年度より減少し、目標値（平成24年～平成27年の平均値から5カ年で2.5%の削減、6,378千kWh以下）を達成できました。しかし、令和元年度のガス使用量は前年度より増加し、目標値（平成24年～平成27年の平均値から5カ年で2.5%の削減、151m³以下）を達成できませんでした。



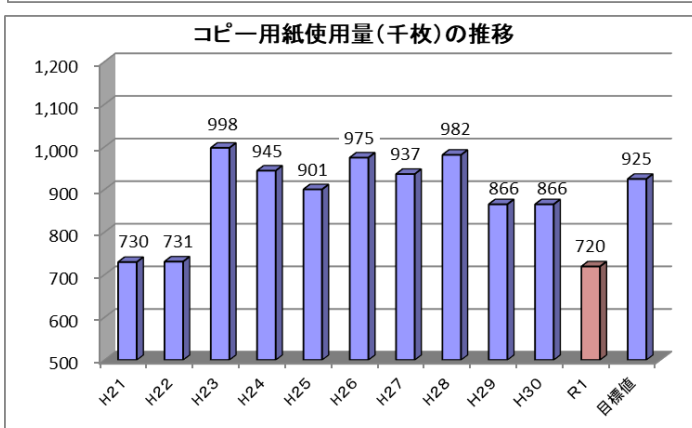
■ 水道使用量について

令和元年度の上下水道の使用量は、前年度より増加しましたが、目標値（平成24年～平成27年の平均値から5カ年で2.5%の削減、17.1千m³以下）を達成できました。



■ コピー用紙使用量について

令和元年度のコピー用紙使用量は、前年度より減少し、目標値（平成24年～平成27年の平均値から5カ年で2.5%の削減、925千枚）を達成できました。



■ 産業廃棄物について

令和元年度の産業廃棄物は、大型機器を廃棄したため前年度より16.4トン増加し、目標を達成できませんでした。

